

[環境対策室] 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	R2 度計画額（単位：千円）		R2 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	環境保全対策事業	B	28,391	2,195	0.7	0.2
2	廃棄物処理事業	B	273,611	21,930	0.7	0.3
3	ごみ減量・資源化事業	A	81,662	12,358	3.6	2.3
4	し尿処理事業	B	18,541	0	0.3	0.1
5	環境共生事業	B	3,135	0	0.4	0.1
6	一般管理事業	B	0	0	0.3	0
合 計			405,340	36,483	6.0	3.0

■特記事項

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	まちづくり部環境対策室		No.	01
事業名	環境保全対策事業			
総合計画の体系	基本目標	5	未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	基本政策	1	環境保全	
目的	町内環境の維持、向上を図るため水質・大気をはじめとした環境衛生の向上を図る。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狂犬病予防業務 ・ 公害対策業務 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全対策関係補助金交付業務 ・ 愛北広域事務組合（火葬場）関係業務 	
現在における経過又は課題	<p>① 遊休地や空き地などの雑草繁茂に関する苦情については、速やかに原因者である土地所有者に対して雑草管理の通知文書を出し対応をお願いしているが、文書だけでは、草刈や剪定を行なっただけでない事もあり、町内や近い近隣市町であれば、直接出向いて、適正管理をお願いしている。また、平成 29 年度より北地域自治組織との協働委託事業による巡回パトロールや不法投棄、犬フン看板の製作及び設置などの環境保全活動を推進している。</p> <p>② 近年、スズメバチ類の巣が多く発見され補助金の支出件数が増加していたが（平成 27 年度 34 件、平成 28 年度 33 件、平成 29 年度 14 件、平成 30 年 13 件）令和元年度は、9 件と減少した。また、昨年は、愛知県内においてヒアリの確認はされていないが、引き続き侵入や定着の防止に注意が必要である。</p> <p>③ 野良猫に関する問題は行政の対応だけでは限界があり、また、殺処分を減らすため、地域猫活動を行う団体に相談し、極力、動物保護管理センターへ移管しない解決を行なった。野良猫の繁殖など解決困難なものも多く、現在は、団体が行う地域猫活動の支援や情報共有をしつつ、避妊去勢手術の助成金制度の整備を検討した。</p> <p>④ 平成 31 年度より愛知県の太陽光発電設備の単独補助金が廃止となり、太陽光発電設備と蓄電池や住宅用エネルギー管理システム（HEMS）などの一体的導入が対象の補助金に切り替わり、大口町としては 7 件の補助金申請を見込んでいたが、9 月末時点で、予定数に達した。そのため、次年度は、補助金申請件数の見直しが必要である。</p>			

令和2年度の 目標又は 改善策	<p>① 雑草繁茂の問題については、従来通り農業委員会や丹羽消防署とも連携を取りながら、速やかに土地所有者に対して通知文書を出して草刈りなど土地の適正管理の対応をお願いするほか、引き続き広報等により土地の適正管理についての啓発にも努めていく。</p> <p>② スズメバチ類への対応については、従来どおりの対応とし、また、ヒアリに関しては、最新情報を把握するなか広報等で注意を促す。</p> <p>③ 野良猫に関する問題については、地域猫活動に取り組む団体との協力体制を継続しつつ、野良猫の避妊・去勢手術の助成金制度を整備し、野良猫の絶対数を減らし野良猫問題を解消する。</p> <p>④ 地球温暖化対策に関する補助金については、平成31年度より愛知県の太陽光発電設備の単独補助金が廃止となり、太陽光発電設備と蓄電池や住宅用エネルギー管理システム（HEMS）などの一体的導入が対象の補助金に切り替わったため、住民のニーズを把握しつつ、補助制度を行なう。</p>
-----------------------	--

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	狂犬病予防注射（集合注射に伴う案内状発送、注射受付事務等）各地区集会場など
5	町内ごみゼロ運動 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
6	町内水質調査（通水期）
8	五条川自然塾 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
8	町内地下水調査（通水期）
8	町内大気測定
12	町内水質調査（湯水期）
2	町内大気測定
2	町内地下水調査（湯水期）
3	五条川・合瀬川・矢戸川クリーンアップ活動 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
通年	公害等の苦情処理、住宅用太陽光発電システム設置補助金交付事務 狂犬病予防事務（犬の登録・注射済み証交付）

□3年間の目標

目標	・ ・						
	項目（単位）	H30計画	H30実績	R1計画	R2目標	R3目標	R4目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3年度	・ ・
R4年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	22,912	30,629	28,391
(内特定財源)		千円	1,404	2,055	2,195
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.7
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.7	0.7	0.9

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
犬登録管理手数料	816	4-1-4(02)
合併処理浄化槽補助金(国)	137	4-1-4(02)
住宅用太陽光発電設置費補助金	610	4-1-4(02)
合併処理浄化槽補助金(県)	82	4-1-4(02)
ふるさとづくり基金繰入金	550	4-1-4(02)
合計		

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
住宅用太陽光発電システム 設置補助金 4-1-4-18-2-2	2,442	1,302	令和元年度の補助金予定件数7件が9月末で達したことに伴い、今後ニーズが増加すると思われるため、7件分から15件分に補助金を増額。

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

- ① 雑草繁茂の問題については、従来通り農業委員会や丹羽消防署とも連携を取りながら、速やかに土地所有者に対して通知文書を出して草刈りなど土地の適正管理の対応をお願いした。
- ② スズメバチ類への対応について、令和2年度は例年よりも増加傾向にあったが、従来どおりの対応として駆除支援を行った。
- ③ 野良猫に関する問題については、地域猫活動に取り組む団体との協力体制を継続しつつ、野良猫の絶対数を減らすため、野良猫の避妊・去勢手術の助成金制度を整備した。
- ④ 地球温暖化対策に関する補助金については、住民のニーズを把握しつつ、昨年度の予定件数7件から増額し、今年度は15件の申請件数を見込んだ。

■評価

- ① 雑草繁茂の問題については、所有者への文書通告等により概ね速やかな対応が得られた。しかしながら、夏場の繁忙期にワークセンターへ作業依頼される場合、人手が不足し早期対応できない場合があるため、事前に造園業者に依頼し適正に空き地の管理をすることを土地所有者に提案した。
- ② スズメバチ類への対応については、気候の影響で大きく左右されるが、今年度は例年に比べ申請件数が多かったが、迅速且つ適正な対応ができた。
また、ヒアリについては、名古屋港（飛島村）にて、9月、10月の2回確認されているが、警戒するレベルではなかったため、注意は促さなかったが、今後は、どの程度で注意喚起を行うかを決めておく必要がある。
- ③ 野良猫に関する問題については、地域猫活動に取り組む団体との協力体制を継続しつつ、町内獣医師とも連携し、新たな支援策として「大口町飼い主のいない猫去勢避妊手術奨励事業実施要綱」を制定したが、事業の進め方に対するご意見をいただき見直すこととなったため、実施できなかった。
- ④ 地球温暖化対策に関する補助金については、今年度15件の申請を見込んだが、10件の申請となった。今後、更に多くの方に利用いただくため、更なるPRが必要と考える。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	まちづくり部環境対策室		No.	02
事業名	廃棄物処分事業			
総合計画の体系	基本目標	5	未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	基本政策	1	環境保全	
目的	廃棄物を適正処理することにより、町内環境の向上を図る。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄防止業務 ・ 可燃ごみ処理委託業務 ・ 埋立てごみ処理委託業務 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新ごみ処理施設建設関係業務 ・ 江南丹羽環境管理組合関係業務 	
現在における経過又は課題	<p>① 耕作放棄地など適正な管理ができていない場所や、人通りの少ない場所へのポイ捨てや不法投棄は依然として後を絶たないため、不法投棄されない環境づくりが求められる。</p> <p>② 可燃ごみは家庭系、事業系とも人口や企業の増加により、排出量が増加する傾向である。家庭系については、広報誌でゴミを増やさない工夫などの周知を図り、事業系については、事業所に訪問しリサイクルできる資源ごみは可燃ごみで排出しないよう依頼をした。また、9月にフードドライブを開催し食品ロス削減の取り組みを行った。</p> <p>③ 令和元年度から可燃ごみボックスの貸出しを行い、カラスやネコによるゴミの散乱被害対策を行った。また、ボックスの設置により可燃ごみ集積場の集約をし、回収の効率を図った。</p>			
令和2年度の目標又は改善策	<p>① 不法投棄が続く場所には不法投棄防止看板を設置するとともに、不法投棄されにくい環境を作るため、草刈りや周辺の清掃などを土地所有者にお願いしていくほか、引き続き、北地域自治組織と連携して環境対策に取り組む。</p> <p>また、不法投棄された場合には投棄者が特定されるようなものがないか確認し、投棄者が特定できた場合には、引き取り及び適正処理の依頼を行う。悪質な場合には警察へ通報する。</p> <p>② 可燃ごみの減量については、引き続き分別周知を行ない、事業所に対しては、訪問し指導を行う。また、フードドライブの事業を通して、食品ロス削減の重要性をアピールする。</p> <p>③ カラスやネコによるゴミの散乱被害が多いところへは積極的に可燃ごみボックスを設置していただくよう、地域へ呼びかける。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	可燃ごみ収集業務、埋立てごみ収集、運搬及び処理業務委託契約事務
3	「災害廃棄物処理計画」の策定
通年	新ごみ処理施設建設関係業務（組合議会、担当部課長会議、作業部会など） 不法投棄防止業務

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	R1 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	・ ・
R4 年度	・ ・

■事業コスト配布

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	230,675	292,623	273,611
(内特定財源)		千円	29,702	21,740	21,930
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.7
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.3
	計	人工	1.0	1.0	1.0

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
一般廃棄物処理業許可手数料	0	4-2-1(01)
可燃ごみ(家庭系)収集手数料	11,280	4-2-1(01)
江南丹羽環境管理組合負担金	4,854	4-2-1(01)
可燃ごみ(事業系)収集袋売払収入	5,796	4-2-1(01)
合計	21,930	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
消耗品費(可燃ごみ収集袋)4-2-1-10-1-1	11,890	△2,169	業者変更により、単価が下がったため。
ごみ処理基本計画策定委託4-2-1-13-9-5	0	△2,090	ごみ処理基本計画策定委託費(R1 施行)
尾張北部環境組合負担金4-2-1-19-1-4	26,497	△36,569	ごみ処理施設建設費負担金 減額

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

- ① 不法投棄が続く場所には不法投棄防止看板を設置するとともに、不法投棄されにくい環境を作るため、草刈りや周辺の清掃などを土地所有者にお願いした。
また、不法投棄された場合には投棄者が特定されるようなものがないか確認したが、投棄者が特定できるような不法投棄物はなかったため、すべて町で処理を行った。
- ② 可燃ごみの減量については、引き続き分別周知を行い、可燃ごみの排出抑制に努めた。また、食品ロス削減の重要性をアピールするため、フードドライブを開催した。
- ③ カラスやネコによるゴミの散乱被害が多いところの相談案件には、積極的に可燃ごみボックスを設置していただくよう促した。

■評価

- ① 不法投棄が続く場所に「不法投棄禁止」や「ポイ捨て禁止」看板を27カ所申請者に貸出し設置していただいた。また、町内不燃物集積場にテレビや消火器などの町では回収できない不燃ごみの不法投棄が増加しているため、適正に処理をしていただけるよう詳しく周知する必要がある。
- ② 可燃ごみの減量については、広報誌等を活用してごみやプラスチック類の分別、生ごみの水切り等を行うよう周知徹底した。
フードドライブについては、43人の方から368点の食品を預かり、大口町社会福祉協議会、ひまわりの会、社会福祉法人中部善意銀行に寄附できたが、今後は、購入量の適正化や食料品の計画的な買い物、食べ切りなどでごみの削減や食品ロスの削減を重点とした活動を行う必要がある。
- ③ 設置希望者に対し、可燃ごみ集積場所の可燃ごみボックスを貸与し設置することで、カラス被害に対し一定の効果が得られた。今年度は12か所に可燃ごみボックスを設置することが出来た。
しかしながら、設置場所等の問題により貸与することができないこともあり、周辺住民の協力や土地（設置場所）の提供等、カラス被害撲滅のため更なる協力要請や普及促進に努める必要がある。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	まちづくり部環境対策室	No.	03
事業名	ごみ減量・資源化事業		
総合計画の体系	基本目標	5	未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	基本政策	1	環境保全
目的	資源の分別を徹底することにより焼却ごみを減少させ、循環型社会の構築を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量・資源化施策の企画・立案 ・資源リサイクルセンターの管理、運営 ・有機資源保管所の管理、運営 ・生ごみ堆肥化事業 		
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"> ① 江南丹羽環境管理組合に搬入される家庭系可燃ごみの組成調査によると、依然としてプラスチック類や、ざつがみが多く含まれているため、定期的に広報でプラスチック類やざつがみの分別周知を図っている。 ② 不燃性中型ごみについて、価格変動や持ち去り禁止の指導などの影響により、収集量が増加しそれに伴い処理費も増加した。今後は不燃性粗大・中型ごみ、小型金属の処理方法の見直しが必要である。 ③ 令和元年度から、新たな取組みとして資源リサイクルセンターにおいて、有価物として羽毛布団の回収を始めた。 ④ スプレー缶の排出については、国の方針に沿うように収集処理をしていかなければならないが、近隣に処理機を所有している事業所がないため、処理方法や委託先について検討を行う必要がある。 		
令和2年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"> ① 家庭系ごみについては、引き続き分別の周知を図る。また、事業系ごみについては、江南丹羽環境管理組合にて実施する組成調査で分別が十分されていない事業所を訪問するなど、ごみ分別の協力を要請していく。また、訪問する際には「事業系ごみ処理の手引き」や資源ごみ集団回収助成金の案内も行う。 ② 不燃性中型ごみ、小型金属類について、処理費が増加傾向にあるため、更なる分別を行い、有価物として処理を行う。 ③ 羽毛布団の買替えシーズンに合わせ、広報誌などで周知をする。 ④ スプレー缶の処理方法については情報を収集し適切な処理ができる方法を検討する。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	廃棄物減量等推進員分別説明会開催※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 大規模事業所、大規模小売店舗からごみ減量計画書提出 必要に応じヒヤリングの実施 令和2年度一般廃棄物処理計画の告示 資源物等収集委託契約等の締結 各月廃棄物収集量の把握
1	令和3年度一般廃棄物処理計画の策定
3	令和3年度各種委託契約の準備
通年	焼却ごみ減量（事業者、地域）に向けての周知・依頼等

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活から発生するごみの減量化、資源化をより一層推進する。 多量排出事業者に対しては、計画的な廃棄物管理の推進を図る。 					
項目（単位）	H30計画	H30実績	R1計画	R2目標	R3目標	R4目標
1人1日あたり可燃ごみ排出量（家庭系）（g）	382	377	377	379	375	374

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3年度	・分別収集の徹底や資源回収の拡大・定着化のための具体的な方策の検討及び実施、特に不燃性中型ごみ、小型金属類については、処理費が増加傾向にあるため、更なる分別の徹底を行い、経費節減を図る。
R4年度	・事業所から発生するごみの減量化・資源化をより一層推進するため、事業所から排出される古紙類について、集団回収助成金制度をPRし資源化を促します。

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	H31 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	75,781	81,446	81,662
(内特定財源)		千円	14,695	12,862	12,358
人工	職員	人工	0.6	0.6	3.6
	臨時職員	人工	4.3	4.3	2.3
	計	人工	4.9	4.9	5.9

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	17	4-2-2(01)
粗大ごみ処理手数料	1,500	4-2-2(01)
環境事業指定寄附金	0	4-2-2(01)
資源ごみ等売払収入	10,793	4-2-2(01)
太陽光発電電力売払収入	8	4-2-2(01)
使用済小型家電等売払収入	40	4-2-2(01)
合計	12,358	

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
委託料 4-2-2-12-9	66,837	2,538	処理量及び消費税の増加 (主なもの) 小型金属処理874、容器 プラ839、ペットボトル192、資源 ごみ等分別表外国語版作成200

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

- ① 家庭系ごみについては、広報誌で分別の周知を図った。また、外国人向けのベトナム語の分別表を作成し、必要とする地区や個人に渡し分別を呼びかけた。
- ② 不燃性中型ごみ、小型金属類については、処理費が増加傾向にあるため、更なる分別を行い、有価物として処理する取組みを模索した。
- ③ 羽毛布団の買替えシーズンに合わせ、広報誌などで周知し、19枚を回収した。
- ④ スプレー缶の処理方法については、金属処理業者と委託業務契約を締結し適切に処理を行った。

■評価

- ① 家庭系ごみについては、50音別ごみ分別早見表の導入等のPRにより、ある程度分別が徹底されるようになった。また、外国籍の住民に対する分別方法の周知のため、外国語（ベトナム語）による分別表の作成を行い周知することが出来た。

事業系ごみについては、江南丹羽環境管理組合にて実施する組成調査が中止になったため、分別が出来ていない事業所を把握することができず、訪問による分別協力活動が行えなかった。

剪定枝、草及び葉については、広報誌等によるPRを継続実施したことで、可燃ごみとして捨てず、有機資源保管所の利用により安定した収集量が得られた。
- ② 不燃性中型ごみ、小型金属類については、リサイクルセンターに持込み再分別化を行い、有価物として処理を行う方法で検討をしたが、不燃性中型ごみの一時保存場所や作業場所、作業時間、人件費などのコストと現在の処理費を比較し、更に検討する必要がある。
- ③ 羽毛布団については、19枚を回収できたため、定期的に周知することで、さらに回収が見込められる。
- ④ スプレー缶の処理方法については、問題もなく適切に処理することができた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	まちづくり部環境対策室	No.	04
事業名	し尿処理事業		
総合計画の体系	基本目標	5	未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	基本政策	1	環境保全
目的	浄化槽等の適切な維持管理を啓発することにより、町内環境の向上を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ し尿汲み取り助成金事業 ・ し尿汲み取り委託業務 ・ 愛北広域事務組合関係業務 ・ 浄化槽清掃業許可業務 		
現在における経過又は課題	<p>① 広報誌などを通じて浄化槽の適正管理についてPRを図っているが、汲み取りトイレや浄化槽に関する苦情が年に数件ある。</p>		
令和2年度の目標又は改善策	<p>① 引き続き広報誌などを通じて、浄化槽の適切な維持管理（保守点検、清掃の義務及び必要性など）についての啓発を図っていく。</p> <p>また、浄化槽に起因する悪臭等の苦情については、必要に応じて愛知県尾張県民事務所環境保全課と連携し、原因者の状況を確認のうえ速やかに改善に向けた指導を行い、苦情原因の早期解消に努める。</p> <p>このほか、下水道供用開始区域であれば建設課（下水道グループ）と連携し、下水道への接続を促す。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
10	広報おおぐちに浄化槽の適切な維持管理に関する記事の掲載 9月24日から10月1日までの環境衛生週間の期間中、広報無線で浄化槽の適切な維持管理を呼びかける
通年	し尿汲取助成金の交付関係事務 愛北クリーンセンター搬入計画の策定

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	R1 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	・ ・
R4 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	H31 年度計画額
事業費		千円	18,851	19,357	18,541
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.4	0.4	0.4

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

① 引き続き広報誌などを通じて、浄化槽の適切な維持管理（保守点検、清掃の義務及び必要性など）についての啓発を行った。

また、浄化槽に起因する悪臭等の苦情については、原因者の状況を確認のうえで速やかに改善に向けた指導を行い、下水道供用開始区域であれば下水道への接続を促した。

■評価

① 浄化槽に起因する悪臭等の苦情については、原因者に対する改善に向けた指導を速やかに実施した結果、苦情原因の早期解消ができた。また、下水道への接続については、建設課と連携して接続を促した。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	まちづくり部環境対策室	No.	05
事業名	環境共生事業		
総合計画の体系	基本目標	5	未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	基本政策	1	環境保全
目的	ふれあい池について、身近な水生生物と触れ合うことをとおして、自然の大切さを学んでもらうことを目的とする。		
事務内容	・ふれあい池の管理・運営委託		
現在における経過又は課題	・ふれあい池の利用者がイベント開催時を除き通常運営においては少数である。施設の老朽化も進み改修工事等が必要になってきていることを踏まえ、施設そのものの存続について検討が必要となっている。		
令和2年度の目標又は改善策	・ふれあい池の利用状況や、施設の老朽化等の確認を行い、今後の運営についての検討を進め、施設の今後についての方向性を決めていきたい。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
11	釣りまつり（ふれあいまつり内）
通年	ふれあい池管理 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉場

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	R1 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	・ ・
R4 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	R1 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	8,261	9,259	3,135
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.3	0.5	0.4
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.4	0.6	0.5

■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

・ふれあい池の利用状況や、施設の老朽化等の確認を行い、今後の運営についての検討を進めた結果、大口町健康文化センターの駐車場として利用することとした。

また、改修工事を施工するにあたり、大型ダンプ車の乗入れができる橋を増設する必要があることと、ふれあい池北側の県管理の農業用水埋設管の改修工事の予定があるとのことで、実質令和5年まで着手できないため、令和4年度で駐車場の設計業務を行い、令和5年度で工事をするとし、今年度は、井戸の維持管理と池周辺の草刈りを行い、管理を行った。

■評価

工事車両の乗入れに伴う水路暗渠設置工事は、県管理の農業用水埋設管の改修工事完了後になるため、速やかに工事に入れるよう常に建設課との情報共有は必要である。